

令和3年度 大田区立東調布中学校 自己評価 報告書

2022/2/15

○ 本校の概要

- ◆学校規模 ・全校生徒数 386名 ・学級数 通常学級11学級、特別支援学級3学級 ・教員数24名(校長・副校長・養護教諭含む)
- ◆学校の特徴 ①生徒会とJRC(青少年赤十字)が中心となり、ボランティア活動が盛んである。
②部活動については、運動系が9部、文化系が6部、合計15部活と数多開設している。
特色ある部活動としては等・三味線部、華道部、チアリーディング部等がある。運動部も区内上位の成績を残している部活が多い。
③学校支援本部と学区5町会が学校に対して大変協力的で、日常的に緑化活動が行われている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
					評価	○印
ブラン生1 きる未 来子来 供社の 会育を 創造的 に	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にすなやかに対応する子どものかと自信を身に付けます。	生徒アンケートで「人のいやがることをしたり、言ったりしていない。」の肯定的回答の割合	4: 90%以上	・「人のいやがることをしたり、言ったりしていない」の肯定的な回答した生徒の割合は、90.3%であり、成果評価は4である。昨年度90.7%とほぼ変わらず、90%を超えている。いじめ防止に向けて道徳の授業だけでなく、生徒総会でも各クラス「いじめ撲滅宣言」を表明するなどの取り組みが引き続き行われている。 その他の生徒アンケート項目の肯定率は ①「チャイム着席ができていない」→96.8% ②「授業の教科書・ノートなど忘れ物をしていない」→90.6% ③「授業で配布された資料はまとめている」→89.8% であり、①～③の項目については昨年度と比較してもほぼ変わらず、授業に取り組み姿勢や情報の活用について概ね良好と言える。 ④「先生方は成績の付け方についての説明をしてくれる」→90.6% ⑤「先生方は質問にたいへん答えてくれる」→90.1% 今年度から評価、評定(成績の付け方)が変更となり、授業中だけでなく面談や学期の終業式の日にも質問を受け付け、成果が表れている。 ⑥「授業で学習したことは、理解できている」→82.2% ⑦「課題に意欲的に取り組んだり、発言したりする」→68.3% ⑧「7の項目について各教科で生徒の実態を把握し、主体的、対話的、深い学びにつながるような授業改善を図る。」 アンケート回答生徒数 372名	A	9
			3: 80%以上		B	3
			2: 70%以上		C	
			1: 70%未満		D	
ブラン上 学力の向	児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます。	生徒アンケートで「授業はわかりやすい。」の肯定的回答の割合	4: 90%以上	・「授業がわかりやすい」に肯定的な回答した生徒の割合は、89.2%であり、成果評価は3であるが、昨年度より1.2ポイント上回っている。英語と数学の授業は全学年少人数展開で授業を行い、生徒一人一人の学力レベルに合わせた学習環境を整えている。 ・各教科単元別、章末の小テストの回数を増やすことで、勉強したことがすぐに結果に表れるよう工夫した。定期考査だけでなく、いろいろな方法で生徒の努力を認め、やる気につながる指導を心がけている。 ・放課後補習教室や土曜補習教室については参加人数を増やして、基礎学力の定着を図っている。英語検定の2次試験について、対策授業を取り入れ意欲的に参加する生徒も見受けられ、合格者数の増加につながっている。12月現在、英検3級以上を取得している3年生の生徒の割合は61.2%と区目標値を超えている。 ・2学期以降、学習保障のためのオンライン授業は実施できるようになった。今後、タブレット端末をより効果的に授業で活用するための校内研修の実施し、生徒の学習に対する意欲、関心を高めていく。 アンケート回答生徒数 372名	A	9
			3: 80%以上		B	3
			2: 70%以上		C	
			1: 70%未満		D	
ブラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心を大きく育てます。	生徒アンケートで「学校のまきみや社会のルールを守る。」の肯定的回答の割合	4: 90%以上	・「まきみやを守る」に肯定的な回答をした生徒は、94.6%と昨年度とほぼ変わらず、成果評価は4となる。その他の生徒アンケート項目の肯定率では ①「あいさつをきちんとしている」→94.9% 昨年度を49%ほど上回り、学校全体で意図的に取り組んだ成果が顕著に表れている。「あいさつ」については、特に小中一貫教育の話し合いにおいても取り上げ、東調布第一小学校、嶺町小学校ともに連携することができた。 ②「学校生活は楽しい」→92.2% 昨年度を3%ほど上回っている。昨年度実施できなかった行事が感染症対策をして制限のある中においてもうまく行われたことが一因と思われる。 ③「身なりが整っている」→89.0% 昨年度を3%ほど下回っている。これは校内でのセーター着用の見直しによるもので、教室移動の時に学校全体で生徒に注意をしている。結果として服装に気をつける生徒が増え、マイナスには捉えていない。 ・数年前までは30人以上いた不登校生徒は、12月現在10人となった。毎週金曜日に管理職を含めて、スクールカウンセラー、各学年の教員、養護教諭で生徒連絡相談部会を開き、情報共有を図っている。不登校だけでなく、問題行動、ジェンダーへの配慮、いじめ等にかかわる生徒についても情報交換を行い、早期発見、早期対応に努めている。 アンケート回答生徒数 372名	A	10
			3: 80%以上		B	2
			2: 70%以上		C	
			1: 60%以上		D	
カブ康の向 増上4 進と健体	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	生徒アンケートで「前年度より体力、持久力などが向上した。」の肯定的回答の割合	4: 90%以上	・「前年度より体力が向上した」に肯定的な回答をした生徒は、74.3%であり昨年度に比べ6.6ポイント上回り、成果評価は3である。制限がある中でも自粛期間は減少し、部活動もできるようになってきているが、コロナ禍前と比較すると生徒の怪我の多さや生徒の体力の衰えが見受けられる。 ・東京オリンピックを会場で観戦することはできなかったが、自国の選手の活躍見たり、日本文化を学ぶことで、日本人としての誇りを再確認することができた。普段の清掃活動だけでなく、地域の落ち葉掃き清掃や緑化活動、「クリーン東中」などのボランティア活動についても意欲的に取り組んでいる。 ・授業や委員会活動等を通して「食育」について指導し、食生活についての意識を高めている。残量を減らす取り組みは、学校保健委員会でも栄養士が課題として取り上げ、その内容を学校だよりで保護者に伝えている。 アンケート回答生徒数 372名	A	7
			3: 80%以上		B	5
			2: 70%以上		C	
			1: 60%以上		D	
ブ教ラ育環5 境づ 魅 く力 りある	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくります。	保護者アンケートで「学校は学力の定着のために授業を工夫している。」の肯定的回答の割合	4: 90%以上	・「教師は授業改善に努めている」に肯定的な回答をした保護者は88.1%であり成果評価は4である。しかしながら、この設問については「わからない」の回答数を除いた数値となり、全体数(分母数)は他の項目より少ない。 ・保護者アンケート(結果より、生活面や行事の取り組みについては肯定的な回答は90%を超えているが、学力定着のための授業の工夫については68.7%と伸び悩んでいる。ICT支援員とも連携して、学校と家庭と双方でのタブレット端末の活用等検討していく。 ・今年度より特別支援教育コーディネーターと特別支援教育専門員が中心となり、特別支援教室(SR)が開設された。通級生徒だけでなく特別に配慮を要する生徒についても巡回教諭、巡回心理士、スクールカウンセラーがチームとなって手立てを検討し、連携体制ができていく。 ・授業改善セミナー、指導教諭の模範授業に若手教員、主幹教員が意欲的に参加している。その内容を教科部会等で授業改善プランに活かし、その後の授業に取り入れ、授業力の向上に努めている。 アンケート回答保護者数 345名	A	8
			3: 80%以上		B	4
			2: 70%以上		C	
			1: 60%以上		D	
とが校ラ育進と も一に体教 育進と 幅めな るづ地 学教で	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	保護者アンケートで「学校は教育活動の推進について地域の協力を推している。」の肯定的回答の割合	4: 90%以上	・「学校は地域との連携に努めている」に肯定的に回答した保護者は、92.6%であり成果評価は4である。上記項目同様に、「わからない」の回答数を除いた数値となっている。オンラインで授業の様子を見ることができ、学校公開授業が実施できない状況である。学校だより、学年だよりだけでなく、ホームページも活用して生徒の様子を掲載していく。 ・学校改善工事に向けての校地の代替地について、区教育委員会施設課、地域と連携して、近隣小学校、河川敷グラウンド等にすることで調整している。 ・新入生保護者説明会をより多くの保護者に来校していただけるように、計画を変更して土曜日に開催した。説明会の前に吹奏楽部の演奏やチアリーディング部の演技等、生徒の活動の様子を実際に見てもらおうと、入学についての不安を軽減させ、来校した保護者に大変好評であった。生徒も発表する機会が少ない中、貴重な場となり達成感を味わうことができた。 ・学校支援地域本部と連携して行う職業人講演会を2年ぶりを実施した。その他にもG組の花壇作りやJRCとボランティア生徒による「花植え隊」など協働活動ができ、生徒のボランティアに対する意識が高まっている。 アンケート回答保護者数 345名	A	11
			3: 80%以上		B	1
			2: 70%以上		C	
			1: 60%以上		D	